

【復興交付金事業計画の個別事業の実績に関する評価様式】

事業番号 C-7-3

事業名 水産業共同利用施設復興整備事業（磯崎漁港区域）

事業費 総額 222,540 千円

（内訳：設計費 11,429 千円，工事費 211,111 千円）

事業期間 平成 25 年度～平成 26 年度

事業目的・事業地区

磯崎漁港周辺のエリアでは、当市場施設を始め、岸壁等の漁港施設，漁具倉庫・アワビ増殖施設等漁協が管理する全ての共同利用施設が地震・津波により甚大な被害を受けている。

地震・津波により被災した荷捌施設は築後 44 年経過しており，劣化や老朽化が加速度的に進み，また衛生面や機能及び耐震の面からも施設更新が急務となっている。

このことから，荷捌施設の近代化（衛生・鮮度保持向上）を図り，加工処理施設等を併設することで，漁獲物の安心・安全と付加価値向上を図ることで 6 次産業化を推進する。

事業結果

■水産物荷さばき施設整備

【平成 25 年度】

●設計委託 10,000 千円

概要：荷さばき施設整備設計

【平成 26 年度】

●監理委託 1,429 千円

概要：荷さばき施設整備工事監理

●工事 211,111 千円

概要：荷さばき施設整備

鉄骨平屋建て 335 m<sup>2</sup> 優良品質衛生管理型市場認定（大日本水産会）

【整備前】



【整備後】



## 事業の実績に関する評価

### ① 事業結果の活用状況に関する調査・分析・評価

本事業において整備を実施した磯崎漁業協同組合卸売市場は、毎年 100 トン以上の水産物や水産加工物が取り扱われており、地域の魚食に欠かすことのできない施設である。今回整備を実施したことにより、今後数十年にわたって衛生的で新鮮な水産物等を取り扱うことができるようになり、地域の魚食普及の推進に大きく貢献するものと考えられる。

### ② コストに関する調査・分析・評価

本事業において整備した磯崎漁港区域の共同利用施設については、公募により施設の管理者を選定し、整備に係る費用を補助金として管理者へ拠出したが、整備工事を行う際などは事業担当部局（水産課）にて工事費のチェックを行っており、コストは適正であったと考える。

### ③ 事業手法に関する調査・分析・評価

	当初想定	実績
設計	平成 25 年度	平成 25 年度
工事・監理	平成 25 年度	平成 25 年度～平成 26 年度

設計段階において当初の想定よりも時間を要したことや、震災後の資材不足等の影響により工事の繰越しを行い、事業期間を 1 年延伸した。

## 事業担当部局

ひたちなか市経済環境部水産課 電話番号：029-273-0111（内線 221, 268）